

現代GP取組事業“遊”成果報告会&シンポジウム  
「世界からのまなざし、世界へのまなざし」(2009. 9. 26)



学び手と教え手、人とシステムが拓く  
中国語教育の新たな試み

## e-learning活用、基礎力活用型 中国語教育プラン“遊”



成蹊大学現代GP“遊”取組実施本部  
湯山トミ子・武田紀子

### 報告概要

#### I 現代GP取組事業としての“遊” (湯山)

#### II e-Learning活用、基礎力活用型 中国語教育プラン“遊” (湯山)

#### III “遊” 第4部 学習プログラム演習問題について (武田)

### I 現代GP取組事業としての“遊”

現代GPとは : 文部科学省の推進する大学等高等教育の質的向上を目指す事業の一つ (GP=Good Practice 優れた取組)

→現代的教育ニーズ取組支援プログラム

\* 他に特色GP、教育GP等

・内容: 各種審議会からの提言等、社会的要請の強い政策課題に対応したテーマの選定、公示→各大学、短期大学、高等専門学校等が応募→特に優れたと評価された取組事業に対して財政支援が行われる。

⇒競争的環境による教育の充実、向上  
個性・特性の明確化、人材育成機能の強化

・求められる役割: 取組の実現、社会に広く情報提供、  
大学教育の活性化を促す教育改革のモデル校

→大学の評価、教育力評価として機能

### 現代GPの申請と審査

国公私を通じた競争的環境 (私立大学の申請が多い、採択率は激戦)

第三者による公正な審査 (テーマ別審査部会+総合評価)

有識者・専門家・ペーパーレフリー意見聴取  
書類審査+面接審査

⇒平成16年度～平成19年度 4年間 (6つのテーマ)

|                       |        |                 |                            |
|-----------------------|--------|-----------------|----------------------------|
| 現代GP                  | 全体     | 申請 2223 / 401 件 | 採択<br>(18.0%の採択率)          |
|                       | 大学単独   | 申請1723 / 323 件  | 採択<br>(20.1%の採択率)          |
|                       | 私立大学単独 | 申請 985 / 163 件  | 採択<br>(18.2%の採択率)          |
| テーマ6(平成18年度テーマ6 ) 国公私 |        |                 |                            |
|                       |        | 申請58 / 11 件     | 採択<br>(19.1%の採択率)          |
|                       |        | 私立大学            | 申請30 / 5 採択<br>(16.7%の採択率) |

→「通るのも大変、通ってから大変」  
独自性のある取組・モデルとしての役割・運用後の成果・持続性

### 成蹊大学現代GP取組事業 “遊”

⇒ 平成18年度現代GP  
部門6 「ニーズに基づく人材育成を目指したe-Learning Programの開発」



「進化する教養教育と国際化 新入材の育成  
——基礎力活用による中国語コミュニケーション能力育成展開プラン“遊”」

<http://gp-you.seikei.ac.jp>

内容 (平成18.9～平成21.3、成蹊大学 法・文・経済 文系3学部)

- 教養課程における初級外国語教育改善プラン  
基礎力活用型中国語教育の実現
- 総合的中国語 e-Learning 教育システムの構築と運用
- 成蹊大学が平成12年度から試みてきたICTによる中国語教育の展開  
\*ICT(情報教育技術)

### 【参考】 成蹊大学の中国語ICT教育への取組

・平成12年～平成16年  
中国語音声教育DBシステム制作  
日本学術振興会科学研究費補助金(平成12年～16年度、単年度申請)  
\* 成蹊大学特別予算(平成14年度)

【特色】 10万語の語彙データ、30万語の音声データ(速度別録音)  
豊富多彩な語彙と検索機能  
(検定試験用基礎単語、ことわざ、しやれことば、なぞなど)  
中国語発音教育の要 声調波形表示機能(発音の自己矯正)  
専門家(中国語教師、音声学、言語学者)と学習者対象  
16年度 簡易入門版制作

・平成16年 中国語音声教育DBに初級学習者向け入門編を分岐制作開始  
教えるためのツールから学ぶためのツールに展開  
発音、文法のためのDVD制作の継続

・平成18年 授業での使用開始  
マルチメディアビデオディクショナリー制作開始  
初中級単語など3000語、絵図素材による単語力の効果的増強  
\* 声調言語であり、表意文字を用いる中国語学習における  
語彙数の増加を補助する役割

→ 現代GP採択による本格的支援システムの開発、教育構想“遊”の着手

## 取組事業・教育改革の背景

### (現状) 社会的ニーズ、日本の課題

- ・グローバル化の進む国際社会 中国語、中国語人材の需要増大
- ・英中間言語を使える人材 世界、アジアに多いが、日本には少ない
- ・非専門分野における中国語人材の必要性和不足

### 大学教育と中国語

- ・日本でもっとも多くの人材が中国語を学ぶ場としての大学第二外国語
- ・入学者の3割〜4割が求める中国語学習
- ・使える言語、コミュニケーション言語(話し聞ける)の習得要望

### (課題) 短期間に初中級を学ぶ教養中国語教育の現状と課題への対応

- ・大量の学生が学びながら中国語を運用できる人材が育成されていない
- ・授業時間数の制約と中国語言語学的特徴、音声教育の重要性

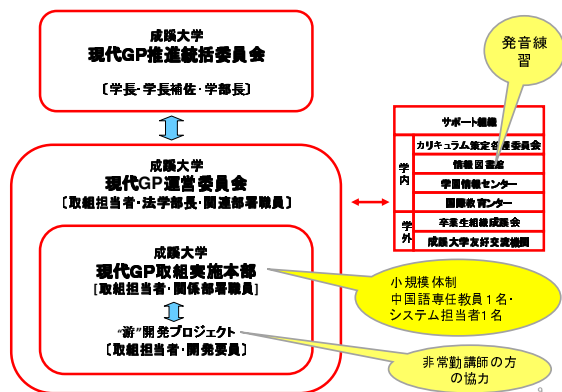
### (改善) 大学教養課程における中国語教育の改善

- ・基礎教育で、短期間に、確実に、質の高い音声教育を行い、単語力を増強し、平易な表現で対話できる基礎力活用型中国語教育を行い、人材を育成することにより、社会と学生のニーズに応える。
- ・有効な補助手段としてのe-Learningの活用

## 本取組事業のキーワード

- ⇒ 教養教育の改善
  - ・初修外国語教育の改善
  - ・中国語教育の改善
  - ・e-Learningシステム、ICT活用教育
- ⇒ 人材育成
- ⇒ 初修外国語単独科目、教養中国語単独科目としては唯一のGP取り組み
- ⇒ 学科解説、カリキュラム改革などの制度改革(トップダウン型)と異なる教育現場からの教育法改善による教育改革事業(ボトムアップ型)、小規模体制

## 実施体制



## 取組に期待される効果と意義

### 非専門分野における中国語人材教育

- ⇒ 他のアジア諸国との協力が求められる日本の国際化に有益かつ重要
- 国際社会における人的交流の深化、発展に大きな効果

### 教養教育の改善と基礎力活用型教育の展開

- ⇒ 21世紀の国際社会に有用な国際化新人材を育成し、教養語学教育の新たな可能性を切り開く、新時代の中国語教育の実現

### 汎用性の高い能動型e-Learning システムの可能性、教育の質的転換

- ⇒ 教師、学生ともに気づけなかった双方の潜在的な要求、発想などの発見により教える側、学ぶ側がともに教育創造の主体となる教育の実現
- 学習者を重視する教育の創造

### 他の言語教育への転用性

- ⇒ タイ語、ビルマ語など、他の声調言語(声調波形表示機能)に転用可能

## II e-Learning活用、基礎力活用型中国語教育プラン “游”

- 1 “游” とは — 教育プラン“游” とシステム“游” の概要
- 2 e-Learning活用 — 基礎力活用型教育“游” の展開
- 3 “游” の教育効果と課題

“游” とは (yóu)

- ・中国語のコミュニケーション世界で、学習者が自由に遊び、学ぶ意味
- ・中国語読み のローマ字表記“you”=英語「あなた」、学ぶ主体である学生を象徴
- ・プラン名・システム名

## 技能と人格の涵養を図る教育プラン

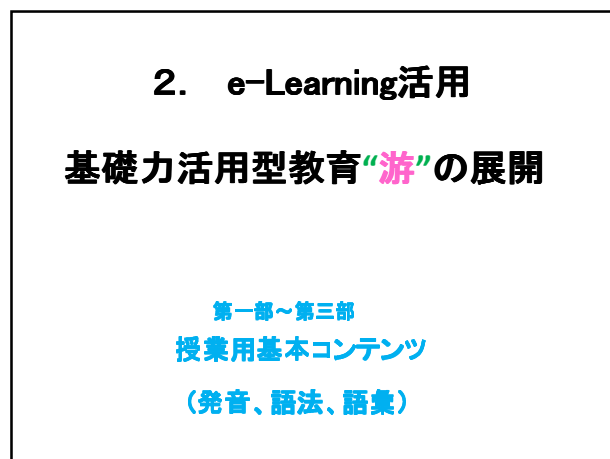
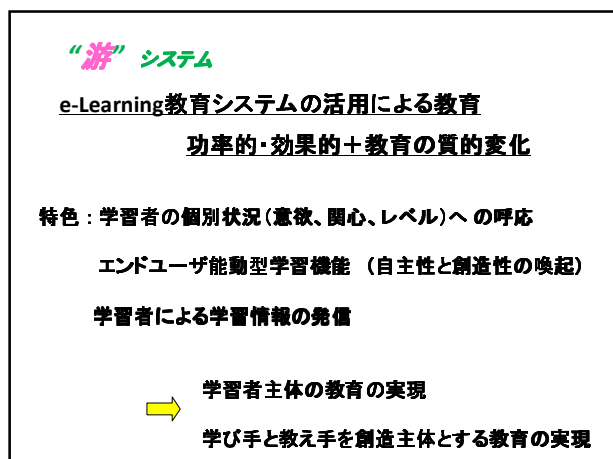
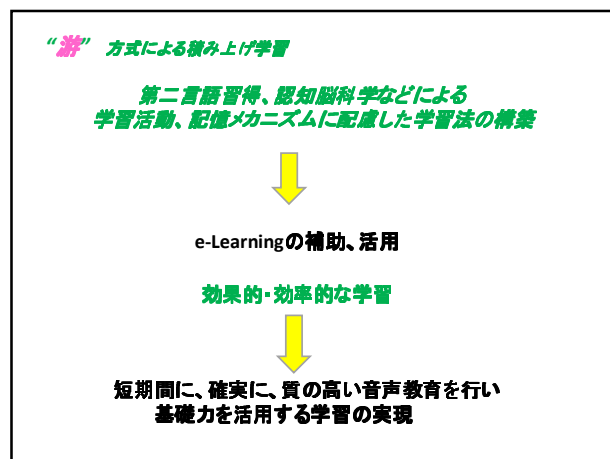
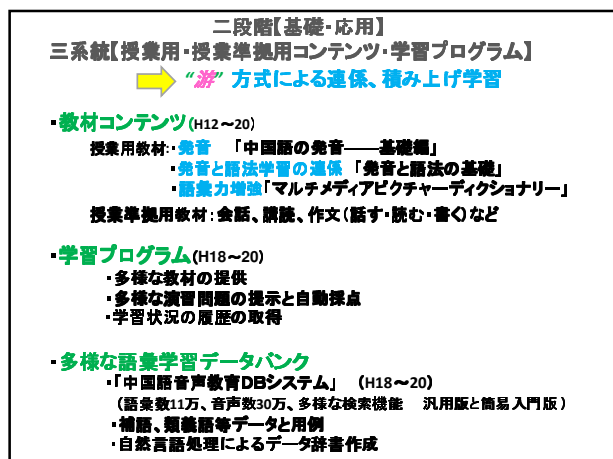
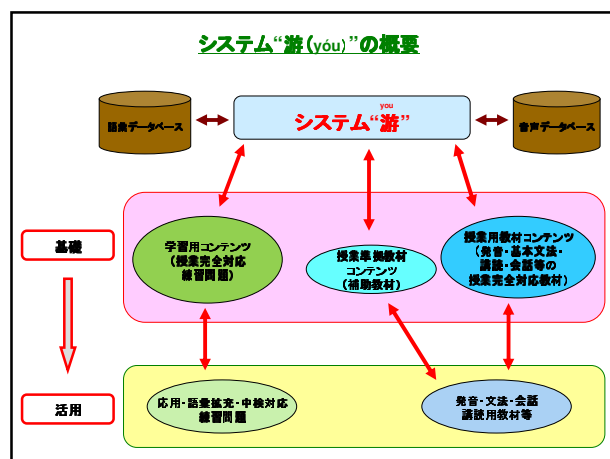
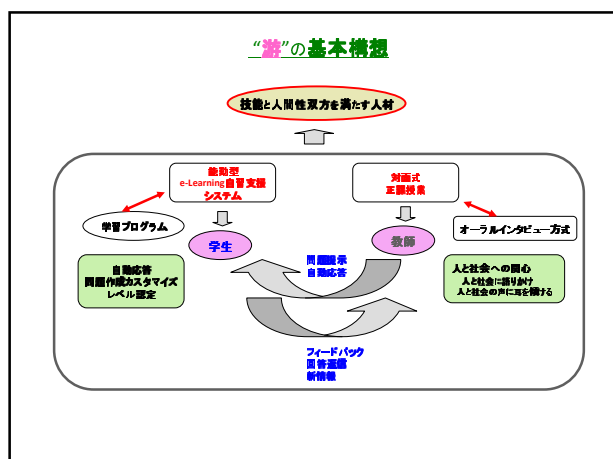
内容: コミュニケーションできる語学的能力の習得  
運用する人間としての内的涵養

- ⇒ 人と社会に語りかけ、人と社会の声に耳を傾けることのできる人の育成

構成: 汎用性の高いe-Learningシステムの複合利用

オールインタビュー方式による独自の対面式正課授業

- ⇒ オールインタビュー方式(口述史の方法論の活用)
  - ・反射神経と速度を要する日常会話能力とは異なる口語教育の実践
  - ・コミュニケーションの基の語学的能力と人と社会に対する理解力、知的好奇心の養成



## 初修外国語教育制度と中国語教育

### 新制大学外国語教育

- ・方針・理念: 戦前の旧制高校における外国語教育理念の継承  
欧米志向型(科学技術、文化吸収のための外国語教育)  
少数の記憶力に優れた学生に対する**集中的な語学教育**
  - ・性格: 専門研究に必要な学問補助語 **書面語重視**
  - ・制度: 二言語選択制度(多くは第一言語英語と初修第二外国語制度)
  - ・実施体制: アメリカのリベラルアーツ型教育モデル  
**幅広い教養科目の習得を前提(大幅な言語教育時間の削減)**  
戦前360時間(年)の半分  
80年代大綱化以降120時間(一部90時間)
- 高い語学運用力を求める目的 ⇒ 相反する時間数 構造矛盾**  
効果のない無駄な外国語教育との外的評価、  
教育者側の教育に対する消極性

## 初修外国語教育制度における中国語教育

### 教育方法と中国語教育

- ・**需要変化**: グローバル化の進む国際社会、英語に次ぐ第二の国際言語  
中国語の需要の増大、コミュニケーション言語習得の要望の増大
- 大学初修外国語教育の基本型(読解型教育) → 教育改革  
聞き話せるコミュニケーション言語の習得を実現する教育方法と研究  
必要性の認識、学術領域での成果と蓄積 不十分
- 中国語の言語学特色: **三要素(音声・文字・語法)の複合**
- ↓
- 言語学、教育言語学(欧米言語を中心に発展、展開)  
中国語の解明を尽くし切れない。  
近年注目される第二言語習得論に基づく学習理論、教育法の進化、発展
- **中国語教育については、十分に展開しえず、立ち遅れの状況**

## 教育内容と初修中国語学習

### ・二言語制度下の初修中国語教育

- ・学習主体: 中国語選択の動機多様、強固ではない  
習得意欲の強さ 特定の積極的な学習者
  - ・学習内容: 声調など音声学習 意欲、習得度に個人差が大きい。  
クラス単位の学習、全体の習得度の平均的な向上困難
  - ・学習時間: 一年間の習得課題(基本発音と基本文法)の消化  
教員が音声習得のための丹念な教育指導の実現に精力を傾けにくい
- 学習者・学習内容・教える側の状況・制約**
- ・音声情報の役割: 音声情報は発話の如何に限らず、音声情報として内声化される  
記憶にとどまり、必要により引き出され、言語として蓄積される
  - 声調学習: 語彙力を増強し、語法理解を高め、効果的、効率的に運用力を獲得  
する基盤、動力
- **基礎学習における音声教育の積み残し、発音の未習得にあらう  
その後の中国語学習の如何を左右する重要な学習課題となる。**

## “游”: 教養課程での中国語教育の改善

### 中国語の言語学的特徴と 教養教育の時間的制約に対応

#### 学習者の負担を軽減しつつ、短期間に確実な運用力を習得できる

(声調学習の効率的、**教育方法の創出** (教養課程の授業時間  
効果的な教育法) 数の有効活用)

中国語の言語学的特徴に  
即した系統的、有機的、効  
率的な学習法、教授法

e-Learning教育システムの  
有効利用と活用法

### 基礎力活用型中国語教育

## 中国語とe-Learningシステム

(有用性): 紙媒体の教材では得られない多様な視覚情報をもつ  
マルチメディア教材を随時、学習者に提供し、学習効果の  
高い教育を実現できる。

(適合性): 中国語教育との適合性が高い

**発音、文字、語法の特徴に即した利用が可能**

中国語 (China-Tibet 語族): **単音節孤立語** (monosyllable isolated language)

↓

声調言語 (tone language)  
+  
表義文字 (漢字)  
⇒ 表義文字の音声を表音化

\* 世界の言語体系 (表音文字) と異なる  
**固有の学習課題、固有の教育方法が必要**

## 中国語の言語学的特徴と学習者の負担

単音節孤立語: ⇒ **1音節の発音重要** **精度** 「一字・一音・一義」の原則  
聞き話せるせるコミュニケーション言語能力重要

声調言語: ⇒ **母語(非声調言語、音声的特徴)の干渉 難しい**  
最終的な意味の弁別を担う声調習得不可欠

表義文字: ⇒ **情報量が多い** **大変** 1音節、1文字の記憶、習得  
⇒ 文字・意味・音声・音声表記法ピンイン (ローマ字綴り+声調符号=複合表記)

中国語 ⇒ **音声習得が重要**  
**学習者の習得、記憶すべき言語情報が多い**

↓

**学習者の負担、負荷が大きい**

↓

**軽減し、効果的、効率的な学習を実現する**

## e-Learningによる教育補助機能

音声、文字、語法、他の言語体系とは異なるそれぞれの特徴、学習者の負担  
⇒ ITシステムのもつ主な利便性、効用

- ① 音声(声調言語 tone language): 瞬時に音声情報を視覚表示できる **声調波形表示機能による矯正機能**。
- ② 文字(表義文字): 表音化による情報量の増加 に対する **言語情報の取捨選択提示による記憶効果の促進**。意味、文字(漢字)、表音表記法(ローマ字綴り+声調符号)、正しい音声化で一セットとなる。
- ③ 語法(語順、語用による文法機能、単音節孤立語 monosyllable isolated language): 形態的、系列的特徴を有さない語法学習に対する習得指標の提示と **語彙の用法・パターン学習の補助**

“游”  
(yóu)

## 方式による基礎教育

### e-Learningの活用による、声調教育を土台とする音声教育重視の初級教育

最終的な意味の弁別を担う高低アクセント「声調」の習得が重要  
中国語の習得には欠かせない **【言語的に重要】**

**声調感覚の養成、習得は、韻母、声母の発音を習得し、語彙、文章学習等、言語情報を記憶し運用していくための土台となる【言語習得上重要】**

声調感覚の習得 = 正しい声調を自動的に音声化できる力の習得(基礎)

⇒ **韻母、声母を追加、意味、漢字と結合(単語練習)**

⇒ **単語レベルからフレーズ、文章レベルに展開**

⇒ **語法の理解を深め、語彙力を拡充**

**声調学習を基礎に構築される中国語初級学習**

“游”  
(yóu)

## 方式と声調学習

**「発音よければ半ばよし、声調よければ発音半ばよし」**

### 母語の干渉[非声調言語、日本語の音声的特徴]

日本語を母語とする日本人学習者

- ・原則として声調という音声現象に対する感覚をもっていない
- ⇒ 聴解、発話、記憶における認知能力が高くない  
声調情報が脱落しやすい(聞く・話す・覚える)
- ・日本語と中国語の音声的特徴の相違
- ⇒ 中国語の音声的特徴になじみにくい

“游”  
(yóu)

## 方式と声調学習

中国語学習 **「発音よければ半ばよし、声調よければ発音半ばよし」**

最終的な意味の弁別を担う高低アクセント「声調」の習得が重要  
中国語の習得には欠かせない **【言語的に重要】**

**声調感覚の養成、習得は、韻母、声母の発音を習得し、語彙、文章学習等、言語情報を記憶し運用していくための土台となる【言語習得上重要】**

### 母語の干渉

- ・非声調言語である日本語を母語とする日本人学習者
- ・原則として声調という音声現象に対する感覚をもっていない
- ⇒ 聴解、発話、記憶における認知能力が高くない  
声調情報が脱落しやすい(聞く・話す・覚える)
- ・日本語と中国語の音声的特徴の相違
- ⇒ 中国語の音声的特徴になじみにくい

## 日本語を母語とする学習者の声調習得

・非声調言語: 声調に対する認知能力の弱さ

・使用音域: 中国語: 使用音域 幅広 6段階 ド～ラ  
日本語: 使用音域が狭く 2段階 ド・ミ (相対音階)

・高低アクセント: 中国語 1音節内での急激、曲線的な変化  
日本語 段階型 起伏の乏しい平板な音声連続

箸を～＝高低低ミドド、橋を～＝低高低ドミド、  
端を～＝低高高ドミミ

⇒ とすれば声調間の区別が不明瞭な一本調子の音声になりがち

⇒ **声調学習の効率的、効果的な学習、教育法が必要**

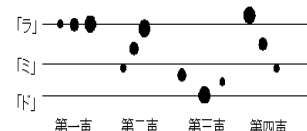
## 中国語と日本語の音声的相違

日本語のアクセントは「ド・ミ」間の高低

中国語のアクセントは「ド～ラ」音の高低

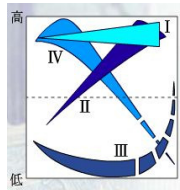


使用音域: 狭い  
高低アクセント: 段階型(複数音節間)  
起伏の乏しい平板な音声連続

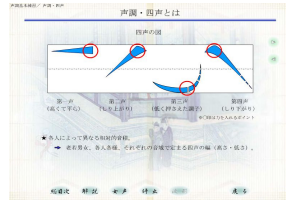


広い  
急激、曲線的な変化(一音節内)  
起伏が大きい  
高音部を多く使う

#### 四声の図



四声の全体的な特徴は高音域を使用する声調が多い



“山あり谷あり”の中国語の声調  
中国語の音声が続く音節間の高低差（前置音節の終了点と後置音節の起点）により構成されている

#### オリジナル声調波形表示機能

声調の音声的特徴

強弱（色の濃淡）、高低（縦軸）、緩急（横軸）

学習者が模範音声と自己の音声の相違を瞬時に視覚的に認識できる。



#### 「山あり谷あり」の中国語

意識的にコントロールする力

短期間に、確実に習得し、運用していく

音声の視覚化による学習法

#### 授業用基本コンテンツ【発音】

中国語学習支援教材 1



【対象】  
・初級教育の最初の発音教育教材  
・学習段階に応じて、初級～中上級まで対応

【機能】  
・声調波形表示機能（ユーザと模範音声との比較機能）  
・音声と同期するカラー遷移矢印  
・漢字、ピンイン、意味、選択表示機能  
・全画面にプロアナウンサーによるナレーション解説（文字情報付）

声調学習を土台とする発音学習 → 視覚情報と音声情報の複合活用

#### 【構成】

中国語とは：中国語ガイダンス

- ・Ⅰ 声調基本練習：ma の練習
  - ・Ⅱ 基本発音と声調：韻母・声母の発音
  - ・Ⅲ 組合せ基礎練習：単音節 区別しにくい発音
  - ・Ⅳ 組合せ応用練習：多音節 区別しにくい発音
  - ・Ⅴ リズム・イントネーション練習：早口言葉・常用会話
- 付録音節表、音節表練習（間違えやすい発音組合せを特化した練習）

【構成軸】 “点から線”へ 起伏のある山あり谷あり型

基盤：単音節の単純練習maによる声調感覚の養成を声調をコントロール力展開：正しい韻母・声母の発音の習得

四声・韻母・声母  
単音節練習から多音節へ  
フレーズから文章練習へ  
⇒1音節の“点”⇒“点”の連なりによるライン

“点”と“点”の間には高低差がある ×平らなラインに非らず

#### 声調符号自動音声化

声調符号を見れば自動的に対応する声調を発話する



最も単純化された音声MAを用いて  
視覚情報として与えた声調符号を自動的に正しく音声化する訓練、  
多大な注意を注がずとも楽に機械的に声調符号を音声化できる  
単純なだけに容易に慣性化する傾向も生まれる。

視覚情報（声調波形表示機能）が有効  
（教師による指導を加えればより効果的）

高音域を使用する四声の特徴を喚起し、  
音節間の終点と続く音節の起点により生まれる高低差への注意を促し、上昇力を回復する

#### 声調学習

日本人学習者の声調習得要件

1. 高音域を使用する感覚と上昇力を養う
2. 音節間の音程差（終点と続く音節の起点）のコントロール力



⇒声調感覚の習得

#### 【方法】 声調符号自動音声化

“ma”の単純練習により蓄積された声調の記憶の引き出し

⇒自動的に再生（注意力を奪われない）

⇒声調基盤にローマ字綴りの要請する音声のをせやすい

多大な注意を注がずとも楽に機械的に声調符号を音声化できる。  
声調符号の自動音声化が容易にできる学生ほど、正しい韻母・声母の発音に注意を向け、正しい発音の習得に進むことができる。

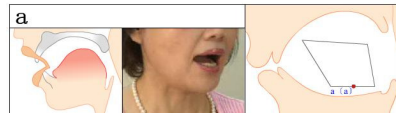


 発音編

(1) 単母音 : 日本語よりも口の開きが大きく、奥寄りの発音が多い。  
〔発音のこつ〕 口の形を大きく、はっきり、奥寄りの音は舌を奥に引

|   |   |   |   |   |   |    |
|---|---|---|---|---|---|----|
| a | o | e | i | u | ü | er |
|---|---|---|---|---|---|----|

a [A] : 舌を下げ、口を上下に大きく開ける「アー」



**注意** つづり：前に声母がない時  $i \rightarrow yi$   $u \rightarrow wu$   $ü \rightarrow yu$

**練習1** 単母音六つと特殊母音 er の文字を頭に浮かべて、パッと発音できるようにしましょう。

## 音節表練習

[illegible]

女声                  波形                  庚子

學好中文！

# 発音と語法の基礎

SKUC 教材開発プロジェクト 編

Skip

基本教材：紙媒体、WEB化した授業完全同期型マルチメディア教材  
テキスト『発音と語法の基礎』〔発音編、本編1課～20課〕

構成：『発音と語法の基礎』  
発音編で集中的な発音学習、後に文法学習に移行学習形態を改善、  
一年間の学習課程全体⇒音声学習と文法学習を行う



視覚情報と音声情報の相乗効果による発音と語法の連系学習  
初級学習過程全体で一貫して実施。

・「課文」、「單語」「語法說明」

・「発音クリニック」: 間違えやすい発音、区別しにくい発音の為のピンイン練習  
発音表記と音声の連係

\*一部の課には「早口言葉」

音声と複数の文字情報を自由に組合せて練習ができる。



隨時学習者が、個的狀況により習得情報を取捨し、記憶を活性化  
系列的、形態的特徴をもたず、語順と語の用法により形成される  
中国語の語法学習において、音声学習と連系した反復練習



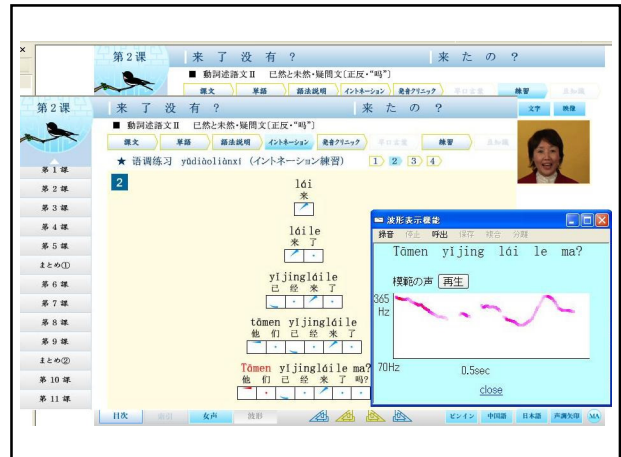
文型パターンを記憶に蓄積し、基本形として運用する基礎作りを実現

**リズム・イントネーション練習**: 語彙の増加により展開する中国語の文生成の特色  
(単語⇒フレーズ⇒文章)に呼応した練習法

**音声と視覚により語彙の生み重ねを体得しながら発音と文法構造を有機的に連係して学ぶ効果を目指す**

- ・WEB画面による語法教材の提示は、**音声学習と語法理解を直接的に結びつける**
- ・限られた授業時間に教員が講義し、学生が拝聴する受動的学習形態から抜け出し、授業時間において記憶し習得する能動的な学習を実現する具体的手立て
- ・日常生活において使用機会の少ない言語の習得
 

**対象言語を構成する知識——発音、単語、文法知識について、文字情報と音声情報を教室空間のなかで理解し、記憶化する習得効果を高める。**
- ・内容的: 教師による個別的な解釈論を回避、系統性をもった語法情報を提供する手立てとなる。  
WEB教材を利用したe-Learning教育  
**教師の手腕や意欲に左右されない教育レベルを得るための教授法の実現が可能**



**視覚情報(イラスト・映像)の活用による語彙力増強** (語/単語)



## 語彙力増強

**視覚情報(イラスト・画像・動画)と単語学習**

**中国語学習: 多種類の情報を理解し、記憶し、引き出す**

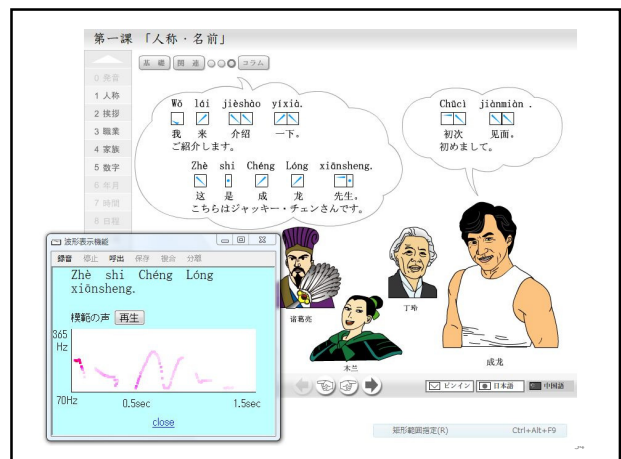
**漢字、意味、「ローマ字綴り+声調符号」、音声**

**イメージ伝達性の強いイラスト・動画 + 音声、文字情報を連係させる**

**文字情報の過多による負荷軽減し、単語学習を促進し、学習者が楽しみながら語彙力を強化し、コミュニケーション力を発展させる**

**マルチメディアピクチャーディクショナリー(語彙・短文など3000)**

- ・初学者の語彙力の増強
- ・漢字のもつ意味に頼り、音声やピンインをおろそかにする傾向



第四課 「家族」

基礎 問題 コラム チャレンジ

0 発音  
1 人称  
2 挨拶  
3 職業  
4 家族  
5 数字  
6 年月  
7 時間  
8 日程  
9 量詞  
10 方向  
11 世界  
12 中国  
13 地形  
14 天気  
15 動物

Q1 下の写真のくまどりをクリックして問題文を開き、下線部の答えを右の選択肢から選びましょう。

Zhè shì shéi  
这 是 谁 ? (こちらは) 誰ですか?

Zhè shì wǒ  
这 是 我 (こちらは) 私の です。

父  
母  
弟  
妹  
妻  
息子  
娘

クリア

0 / 7

目次 索引 音声 波形

## 2 e-Learning活用

### 基礎力活用型教育“游”の展開

#### 第四部

#### 学習プログラム「力をつけよう！」

(授業準備・応用学習)

#### 学習プログラム(基礎力の活用と応用、発展・展開)

力をつけよう！

概要

よくある質問

利用ガイド

学習ガイド

学習メニュー

授業準備学習

教材学習

中級試験対策

応用学習

個人メニュー

プロフィール変更

オプション設定

基本教材へ

1級 授業の基礎

2級 授業と試験の基礎

3級 ビジネス

4級 試験対策

概要

本サイトは、成蹊大学の中国語科のための学習プログラムです。

授業で学んだ基本教材を身につけるための基本練習、ブラッシュアップのための練習、応用力をつけるための練習など、レベルに合わせて、興味に合わせて教材を選んだりできるほか、自分の自身の学習状況を理解する材料となる学習履歴など、盛りだくさんのプログラムが用意されています。

総合的な使い方は「学習ガイド」、各教材の使い方は、各教材のトップの説明、シフトの使い方がわからない場合は「利用ガイド」、その他は「よくある質問」を見てみてください。皆さんがこのサイトをいかに活用して、学習の成果を得られることを祈っております。「祝学成功！」

#### 活用・応用力の習得

##### 1 教材学習(演習問題付き授業対応教材)

- ・**会話**:『発音と語法の基礎』を学ぶ基本テキストに呼応した会話テキストによる基礎学習の活性化、語彙量増加をはかる『マルチメディアピクチャーディクショナリー』に呼応した会話学習による語彙習得の強化と会話力の向上、ビジネス界を模擬体験しながら学ぶ『ビジネス型会話』
- ・**講読**:文章構造への理解を深める講読教材による「時空間を越えたコミュニケーション力」の養成により、異文化、他者理解を深める個性ある人物伝、思想、社会を学ぶ「名人名伝」、現在に生きる人と社会を知る時事問題
- ・**作文**:基礎演習 (作文学習と口頭発表、発信型学習)

教材学習

外国語学習の定常的「読む」「書く」「話す」に対応した教材が用意されています。関心レベルに合わせて、学習する内容を選びましょう。

読む力を上げよう！

- ・ 辞書
- ・ 語彙・語法
- ・ 文法
- ・ 語法
- ・ 文化

表現力をつけよう！

- ・ 基礎練習

話す力をつけよう！

- > 初級
  - ・ 『発音と語法の基礎』準拠会話
  - ・ マルチメディアピクチャーディクショナリー準拠会話
- > 中級
  - ・ 実用会話(ビジネス)
  - ・ マルチメディアピクチャーディクショナリー準拠会話

Copyright© 2009 Seisai Univ. All Rights Reserved

##### 2 演習問題型・学習情報取得型

- ・**授業準備学習(授業用基本教材完全対応演習問題)**  
『発音と語法の基礎』対応演習問題
  - ・**検定試験対策(準4級～2級)**
  - ・**語彙力増強**:補語、誤用学習、類義語学習、同形異義語などの教材による語彙力の拡充と用法学習。
- \* 語彙量の増加(A): 視覚情報を活用した『マルチメディアピクチャーディクショナリー』による基本語彙の増強 (“游” 第三部)

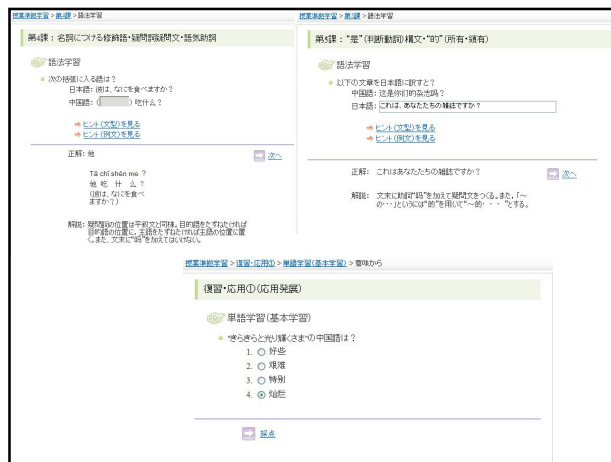
### 特長

- ・**エンドユーザ能動型学習機能**
- ・**自動応答機能・正誤判定**
- ・**弱点・弱点克服の問題提示**

- ・演習問題の自動採点
- ・各学習者の学習履歴により、各自の弱点を提示
- ・弱点克服のためのアドバイス、演習問題の提示
- ・このアドバイスを参考に、学習者は、学習プログラムを選択、指定

## 对象

- ・基本テキスト「発音と語法の基礎」準拠学習プログラム
- ・各種授業教材(朗読、会話、時事)準拠学習プログラム
- ・応用学習(類義語・誤用例・日中同形異義語など)
- 中国語検定試験対策プログラム







[応用文法](#) > [練習問題](#) > [初級](#)

### 慣用例 - 初級

**練習問題**

- [慣用例\(初級\)の練習問題を解きましょう。](#)

**解説一覧**

- [人物代名詞「我们」「你们」](#)
- [指示表現「这」「那」](#)
- [8つの否定表現「不」「没」](#)
- [指示代名詞「这」「那」と这个「那个」](#)
- [YES和NO](#)
- [アスベクト的動詞「了」の用法\(1\)](#)
- [アスベクト的動詞「了」の用法\(2\)](#)
- [正在进行的状态](#)
- [名前と姓](#)
- [時間補語\(1\)](#)
- [時間補語\(2\)](#)
- [方向補語\(1\)](#)
- [方向補語\(2\)](#)
- [方向補語\(3\)](#)
- [可能性補語\(1\)](#)
- [結果補語、方向補語の可能性\(2\)](#)
- [結果補語と可能性補語](#)

[応用文法](#) > [練習問題](#) > [練習問題](#)

### 慣用例 - 初級

**練習問題**

- 次の例文をよみいしど？
  - 你总是来吗？  
Nǐ qīng hǎi shì wǒ qu? (あなたが行く？それとも私が行く?)
  - 你还在来吗?

---

正解: ①

解説: 「还是」が肯定・否定両方を用いて疑問を表す以上、疑問形から1つ間違えた例文でも「まだ来るのか？」という疑問の意味の中で疑問が重複している場合や過剰なものを省く必要があります。

[illegible]

 **有用かつ有効な方法**  
授業完全図解型のWEB教材による教育方法

### 授業完全同期型のWEB教材による教育方法の展開

【使用】 授業内使用 ⇒ 自習利用

・視覚情報と音声情報の相乗効果を生み出せるWEB教材  
教育内容を熟知した教員の指導の下で使用する

・学習者の習得速度、習得度を向上させ、**自習利用を促進する方法**

【成果の体得】 具体的な学習補助効果⇒意欲の喚起、個人指導と集合練習

・**授業完全同期型** ⇒ 授業の予習、復習に役立つ  
直接大学での成績評価を高める力となる

↓  
・**学生にとって利点が大い**、顕著な学習成果を確認でき、学習意欲を  
喚起し、主体的で、意欲的な学習者となる契機を作ることができる。

・授業内:CALL機能の使用⇒ **集合学習との歩調を軸  
個々人の学習状況(レベル・特徴)尊重**

⇒ **“学が主体”のための教育ツールとしての有用性**

### 授業完全同期型の使用効果

・音声と視覚により語彙の積み重ねを体得しながら発音と文法構造を有機的に連  
係して学ぶ効果を目指す。

・WEB画面による語法教材の提示は、**音声学習と語法理解を直接的に結びつける**

・限られた授業時間に教員が講義し、学生が拝聴する受動的学習形態から抜け出し、  
授業時間において記憶し習得する動的な学習を実現する具体的手立て

・日常生活において使用機会の少ない言語の習得

↓  
**対象言語を構成する知識——発音、単語、文法知識について、  
文字情報と音声情報を教室空間のなかで理解し、記憶化する  
習得効果を高める。**

・内容的:WEB教材を利用したe-Learning教育  
**教師の手腕や意欲に左右されない教育レベルを得る為の教授法の実現が可能**

### システム・コンテンツの使用

①学習者の負担を軽減し、**声調、基本発音の効率的、効果的な習得を実現。**

②授業同期型コンテンツによる**自習支援率の急増による習得率の向上。**  
(予習・復習に役立つ。成績に直結⇒授業同期型)

③学習者の学習到達度、学習意欲の向上により**教師の教育意欲が刺激され、良性的教育  
循環**が生まれる。

④CALL機能による**個人指導と机間巡視による集団練習の組合せ効果、  
机間巡視の際に1～2秒で個別アドバイスを与える⇒配値の蓄積と活用。**  
⇒ブレンド型、個人練習と集合練習のよき効果

⑤個別指導が与える**学習者と教師の間に親密感と信頼感**が生まれる

⑥システムを通じて学生が常時自己の学習を視覚的に認知する  
**学習者が自己の学習を客観的、分析的に見つめて意欲的になれる**

### 実践と効果

#### 発音基礎学習の実践による成果（教育方法）

①**声調感覚を確立し、その基礎に正しい口形、舌の位置を明示する韻母、声母学習  
を展開することにより、声調、韻母、声母を有機的に連係する質の高い音声教育  
の基礎を確立できる。**

②**文字情報（声調・韻母・声母）を正しく音声化できる力を養成した後に、漢字、  
意味を伴う単語学習に進み、さらにイラスト、図像、動画を核に文字情報と音声  
情報を結合させ、語彙力の強化を図れる。**

③**発音と語法教育の連係により、平易な表現でコミュニケーションできる基礎力活  
用型教育を実現できる。**

↓  
音声教育を重視した有機的、総合的な基礎教育法が生み出される。

■による単純な声調練習による声調符号の自動音声化 **MAの威力**  
非声調言語を母国語とする学習者の声調習得に大きな役割  
声調情報の脱着への対応

88

### 【CALL使用効果】

・CALL機能と机間巡視、教師と学習者の個別コミュニケーション

⇒**学習者の意欲を増し、親密感を増す。  
習得状況の個人差へのきめ細かい対応が可能**

・個人差の大きな語学学習に対する対応【習得内容・習得度の差】

・システムを通じて学生が常時自己の学習を視覚的に認知する

⇒**自己の学習を客観的、理知的に認識し、目標を達  
成する学習姿勢を育成**

↓  
**人だけ、システム自習だけでは得られない教育活動**

### 非専門分野における 語学的技能の習得

⇒**限られた授業時間数のなかで、  
確かな基礎力を習得し、活用する**

↓  
**コミュニケーション力の獲得**

⇒**学習者の達成感の充足、  
学習モチベーションの強化**

⇒**学び手が自力で意欲的な学習主体に変化する  
契機の創出**

## 教授法の進化とシステムの授業運用

### 教授法の進化と改善

WEB化された教材を授業内で使用する教育方法、教員側の教授法の変化と進化？

- ①講義に依拠しがちな教員主体の授業運営から学習者の主体的学習を軸に展開する

#### 実践的・能動的な教育方法への転換

- ②視覚情報と音声情報を同時に提供できるWEB教材の効率的、効果的な利用法を提示し

#### 第二言語としての限られた教育方法を拡充、

- ③教員と学習者がともに学習成果を視覚的、客観的に認知し、分析的に学習を進めることによる

#### 科学的教育法の展開

## 教授法の進化と改善

- ④③により学習者の学習内容に的確な指示と情報を提供し、

#### 学習者の自律的学習能力を高める自己発音矯正力の習得

- ⑤習得度に相違が大きい語学学習において、集合練習を母体としながら、個別練習を取り込み、「個人対教師」のワンライン学習とこれに基づく集合練習形態により

#### 個人練習と集合練習の相乗効果を生み出す教育方法の創出。

- ⑥発音習得度の向上による

システムの自習使用率の増加、高次の学習への意欲、語法学習への積極性の喚起により、教育的な相互刺激を生み出す

## 履歴の活用

採点履歴をもとに、  
学習者の状況を把握  
誤答した問題を繰り返し提示することにより、学習を定着化させる

### 【学習者】

- 間違えた問題が繰り返し提示されることで、弱点を克服する
- 学習履歴により、自分の弱点を把握し、克服のための問題を選択する  
例) 韻母・声母の聞き分けが不十分  
韻母・声母の聞き分け問題を練習
- 学習意欲の向上に役立つ  
例) 中国語検定対策問題の学習結果により、実際の検定試験の受験意欲が増す。合格すれば、更に上の級を目指すための学習意欲も起こる

### 【教師】

- 学習履歴により、学習者の欠点(全体、個人)が分かり、教育に反映できる
- 学習状況の把握により、学習者の学習意欲が把握できる

| 項目 | 漢文種別        | 漢字      | 正解数 | 不正解数 | クリック数 |
|----|-------------|---------|-----|------|-------|
| 0  | NULL        | 1.01    | 2   | 2    | 0     |
| 0  | NULL        | 1.021   | 6   | 0    | 0     |
| 1  | 1st11       | 1.22    | 2   | 0    | 0     |
| 1  | 1st11at1    | 1.21    | 10  | 0    | 0     |
| 1  | 1st11at1    | 1.22    | 12  | 0    | 0     |
| 1  | 1st11at1at1 | 1.21    | 2   | 1    | 0     |
| 1  | 1st11at1at1 | 1.22    | 8   | 1    | 0     |
| 1  | 1st11at2    | 1.21    | 1   | 0    | 0     |
| 1  | 1st11at2    | 1.22    | 3   | 1    | 0     |
| 1  | 1st11       | 1.21    | 4   | 1    | 0     |
| 1  | 1st11       | 1.22    | 6   | 1    | 0     |
| 1  | 1st11at2    | 1.21    | 2   | 0    | 0     |
| 1  | 1st11at2    | 1.22    | 2   | 0    | 0     |
| 1  | 1st11       | 1.21    | 4   | 1    | 0     |
| 1  | 1st11       | 1.22    | 3   | 0    | 0     |
| 1  | 1st11at2    | 1.21    | 1   | 0    | 0     |
| 1  | 1st11at2    | 1.22    | 2   | 0    | 0     |
| 1  | 1st11at2    | 1.24    | 0   | 0    | 1     |
| 1  | NULL        | 1.11111 | 2   | 0    | 0     |
| 1  | NULL        | 1.11121 | 4   | 0    | 0     |
| 1  | NULL        | 1.11122 | 3   | 2    | 0     |
| 1  | NULL        | 1.11212 | 1   | 0    | 0     |
| 2  | 2st11at1    | 1.21    | 4   | 6    | 0     |
| 2  | 2st11at1    | 1.21    | 4   | 1    | 0     |
| 2  | 2st11at1    | 1.21    | 2   | 1    | 0     |
| 2  | 2st11at1    | 1.21    | 3   | 0    | 0     |
| 3  | 3st11       | 1.22    | 1   | 0    | 0     |
| 3  | 3st11       | 1.23    | 1   | 0    | 0     |
| 3  | 3st11at1    | 1.22    | 1   | 0    | 0     |
| 3  | 3st11at1    | 1.23    | 1   | 0    | 0     |
| 3  | 3st12       | 1.22    | 1   | 0    | 0     |
| 3  | 3st12       | 1.23    | 1   | 0    | 0     |
| 3  | 3st12at1    | 1.22    | 1   | 0    | 0     |
| 3  | 3st12at1    | 1.23    | 1   | 0    | 0     |

## 学ぶ主体からの情報発信

学ぶ主体としての学習者

学習情報の受け手(返信・回答者)  
+  
学習の創造者  
+  
主体的に創造した学習情報の発信者

教育内容を進化、発展させる

→ 学ぶ側と教える側がともに創造主体となれる教育の実現

| 項目         | 出題タイプ | 正解数 | 不正解数 | クリック数 |
|------------|-------|-----|------|-------|
| 3.1.1      | NULL  | 10  | 1    | 0     |
| 3.1.2.1    | NULL  | 75  | 18   | 0     |
| 3.1.2.2    | NULL  | 14  | 6    | 0     |
| 3.1.2.2    | NULL  | 35  | 5    | 0     |
| 3.1.2.3    | NULL  | 4   | 5    | 0     |
| 3.1.2.4    | NULL  | 0   | 8    | 0     |
| 3.1.2.2    | NULL  | 0   | 2    | 0     |
| 3.2.2.1    | NULL  | 70  | 37   | 0     |
| 3.2.2.1.21 | NULL  | 7   | 1    | 0     |
| 3.2.2.1.21 | NULL  | 20  | 5    | 0     |
| 3.2.2.1.22 | NULL  | 5   | 2    | 0     |
| 3.2.2.1.23 | NULL  | 21  | 9    | 0     |
| 3.2.2.1.24 | NULL  | 11  | 2    | 0     |
| 3.2.2.1.25 | NULL  | 21  | 1    | 0     |
| 3.2.2.1.26 | NULL  | 5   | 0    | 0     |
| 3.2.2.2    | NULL  | 161 | 51   | 0     |
| 3.2.2.2    | R     | 15  | 1    | 0     |
| 3.2.2.3    | NULL  | 141 | 48   | 0     |
| 3.2.2.4    | NULL  | 95  | 36   | 0     |
| 3.2.2.5    | NULL  | 7   | 5    | 0     |
| 3.3.1.1    | NULL  | 8   | 8    | 0     |
| 3.3.2.1    | NULL  | 21  | 10   | 0     |
| 3.3.2.1.21 | NULL  | 1   | 0    | 0     |
| 3.3.2.1.21 | NULL  | 3   | 1    | 0     |
| 3.3.2.1.22 | NULL  | 4   | 0    | 0     |
| 3.3.2.1.24 | NULL  | 3   | 0    | 0     |
| 3.3.2.1.25 | NULL  | 2   | 0    | 0     |
| 3.3.2.2    | NULL  | 15  | 1    | 0     |
| 3.3.2.3    | NULL  | 10  | 3    | 0     |
| 3.3.2.4    | NULL  | 15  | 16   | 0     |
| 3.4.2.1    | NULL  | 0   | 1    | 0     |
| 3.4.2.3    | NULL  | 7   | 31   | 0     |

## 5. まとめと課題

- ・ WEB教材を用いたe-Learning教育

旧来型の対面授業だけでは得られない教育、学習効果

⇒ **学び手と教え手の双方性教育**

果 教員の相違による教育内容の不統一、ばらつきを是正し、一定の系統的成

- ・一年間の試用と運用調査、
- 年度年教育懇談会**

- ・積極的な使用成果を上げた講師に依頼し、授業デモンストレーション

他講師の関心喚起し、システム使用と授業運営に啓発と刺激する

教育に従事する**教員間の教育探求と連携間の創出e-Learningシステム活用教育の推進力を生み出す源**

終わりに

今後の運用:発音・語法の習得、語彙力増強の為の学習タスク、閲読、会話、検定試験

## 多くの学習プログラムとその学習履歴蓄積システム

⇒学習者の学習活動、教員の役割、教授法の一層の深化が果たされる

履歴情報:各学習者の意欲、進捗状況、理解度が、数字として得られる  
学習者、教え手が自己の教育活動をより客観的、理知的に認識できる。

⇒ **学習者と教師が相互に触発しあう創造的な教育の更なる可能性**がより高められる

⇒システムを活用した教育は、教授法とこれを担う教師の役割を大きく変化

⇒ 既知の知識の伝達者から、学習課題と学習法の優れた導き手、コーディネーターへ



**学ぶ者と教える者がともに発見者となる新しい時代の教育に向かう大きな転換点  
中国語教育と外国語教育の新たな、そして更なる可能性と課題が展望される。**

## 運用と課題

- ・機械を使うよりも人による教育、対面教育が優れているという主張、
- ・ITシステム使用の教員の不安、教員役割の変化に対する危惧、

さまざまな状況や問題

- ・教員間の授業参観、相互啓発、相互評価などの教育法の探求を行う活動の実施  
十分に普及しておらず、軋轢も生じないわけではない。

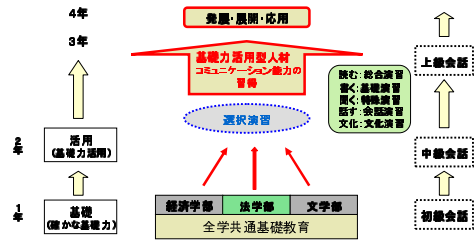
- ・学習効果の高いシステムも運用する教師のあり方、資質により、運用度に差異が生じ、成果も左右されやすい

使いやすく、効果を具体的に提示できるシステムを開発する努力、

教員自身が積極的にシステムを利用、活用する教育準備、  
その為のFD活動を十全に行えるようにする必要がある

**“遊”の実施体制 2010年以降 教育課程(e-Learningコース)**

- ・一般教養課程 卒業必修科目としてのコースは設定しない
  - ・基礎教育と選択科目を対象に、基礎力の習得、活用、展開の三段階により実施
  - ・エンドユーザ能動型e-Learning 自習支援システム
- 外国語習得のための四技能(読む・書く・聞く・話す)に対応  
・義務(授業用予習・復習)と自主利用の2方法を通じて使用



文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GPP)」採択

成蹊大学

進化する教養教育と国際化人材の育成

基礎力活用による中国語コミュニケーション能力育成成果展示「遊(yǒu)」

基礎力活用による 中国語コミュニケーション能力育成成果展示 プラン

e-Learningシステム“遊(yǒu)” (遊戯)への入り口はこちら

HOME News & Topics 取組内容(PDF) 活動報告 資料・報告書

中国語教育研究部  
DBシステムセンター

What's New

News&Topic<遊>

- 2009/9/21 9月26日 12:30～17:45 成蹊大学にて開催されます。「遊」成果報告会をシンポジウム「世界からのまなざし・世界へのまなざし——現代世界と中国語の未来——」のプログラムをプラスしました。  
[遊\(yǒu\)](#)
- 2009/7/4 9月26日 12:30～17:45 成蹊大学にて、「遊」成果報告会をシンポジウム「世界からのまなざし・世界へのまなざし——現代世界と中国語の未来——」を開催いたします。  
詳しくは [こちら](#)
- 2009/6/19～6/21 第6回全日本英語教育研究討論会(台北)で、「専用中文WEBシステム」教材の模試の効果(2008)について報告
- 2009/3/31 第4期「学習」プログラム「力をつよもう」が公開されました。

《参考文献一覧》

1. 進山トミ子・霞田紀子:「“游”的教育構想とe-Learning系統」;第9回世界漢語教学国際検討会(2008)
2. 進山トミ子・霞田紀子:WEB教材の複合利用による授業効果:日本e-Learning学会2008年秋季学術講演会予稿集(2008)
3. 進山トミ子:「中国語コミュニケーション能力育成展開プラン“游”」成蹊大学法学部創立40周年記念冊子
4. 進山トミ子・霞田紀子:視覚情報を用いた発音基礎教育:日本中国語学会第58回全国大会予稿集,pp35-39(2008)
5. 進山トミ子・霞田紀子:中国語基礎教育におけるe-Learningシステムの活用——発音習得における声調図形表示機能の仕様と教育課題——;日本e-Learning学会2008年春季学術講演会予稿集(2008)
6. 進山トミ子・霞田紀子:中国語e-Learningシステム“游”(Yôu)——構想と開発について——;日本e-Learning学会論文誌,Vol8,pp99-106(2008)
7. 進山トミ子・霞田紀子:中国語e-Learningシステム“游”(Yôu);日本e-Learning学会2007年度秋季学術講演会予稿集(2007)  
\* 日本e-Learning学会2007年度秋季学術講演会審査員特別賞受賞
8. 進山トミ子・霞田紀子:“游”(Yôu)進化する教養教育と国際化新人材の育成:e-Learning World 2007
9. 進山トミ子・霞田紀子:進化する教養教育と国際化新人材の育成——基礎力活用によるコミュニケーション能力育成展開プラン“游”(Yôu);文部科学省平成18年度大学教育改革プログラム合同フォーラム、pp190-193(2006)

ご静聴ありがとうございました

終わり



<http://133.220.106.221/index.html>